

## 遠心クラッチの基本メンテナンス

VORETX MINIROK・SUPERROKは、ローメンテナンス乾式遠心クラッチを装備しています。クラッチは定期的な点検・交換が必要です。クラッチのロングライフのために、下記の取り扱い方法に従ってください。エンジン始動時には、急発進を防ぐために必ずブレーキペダルを踏んでください。

### 注意:

クラッチへの悪影響・オーバーヒートを避けるために、エンジン始動後には無駄なアクセルを踏まないでください。走行前には、必ずチェーンオイルを塗布してください。もし必要があれば、交換してください。ドライブスプロケットとリヤスプロケットのアライメントが正しくない場合、またはチェーンオイル不足の場合は交換時期を早めるでしょう。

### クラッチ点検時期:

- ・ 走行5時間毎
- ・ クラッチ内部からの金属音
- ・ クラッチミート回転数が6000rpm以上
- ・ クラッチのオーバーヒート（スモーク、または異臭）

クラッチ点検時には、クラッチカバーとクラッチドラムを必ず取り外してください。

### クラッチ交換時期:

- ・ クラッチシュー部分（ポイントA）の厚さが、1.5mm以下になった場合、または本体の直径が80.00mm以下になった場合。
- ・ クラッチシュー部分（ポイントA）が、とても荒れている場合。

（オーバーヒートによる、クラッチシューの磨耗・悪化）

### 注意:

クラッチシューが完全に磨耗し、クラッチボディとクラッチドラムが直接接触してしまった場合には、クラッチドラムを交換してください。

この説明は一般的な使用時に於けるメンテナンスサイクルです。使用方法・状況によっては早期に交換を必要とする場合もあります。

